

「ごっこ屋本舗」からの提言

少子化対策は故郷づくりから

ふるさと

我が家の故郷づくり、総額は500万円
200坪の土地に家がある田園生活



田園生活は良いが、一家の収入はどうする？田園生活では男が都会で働いて稼ぎ、女が家庭を守って子育て。が基本です。何しろ500万円のローンだから肩の荷が随分と軽い。単身赴任で、週末の田園生活を楽しもう。片道3時間のところなら楽勝です。

一家の収入確保は男の役目。単身赴任で、大都会で働けば良いのです。そのために、企業は単身赴任者のために事業所の近くにワンルームの住宅を造れば人材の確保もできるし、営業期間は従業員が脇目も振らずに働いてくれます。

そして、金曜日の夕方には家族との田園生活が待っています。我が家に帰って2日間、子供や妻との充実した時間を過ごすことができます。

ここまで書くと、妻の立場は田舎で子育てだけかと今風の女の主権を振りかざしますが、昔から日本の家族は女が中心でした。その中心の主婦が我が家の将来を担う我が子たちを教育することが大切なのです。

大切に育てた子供は、親が年老いたら大切に見守ってくれるのです。「田園生活」は良いことづくめなのです。

①夫は街で働いて給料を稼ぐ。

②妻は田園で子供を伸び伸びと育て、教育する。